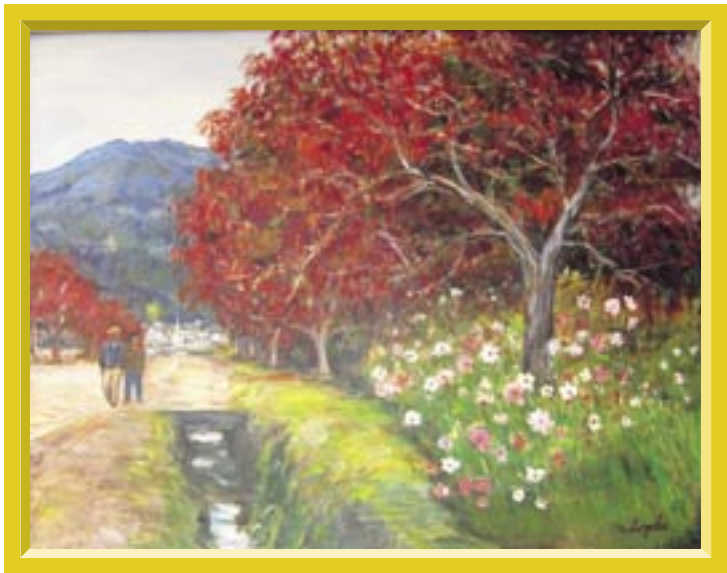


街かど gallery



樋並木

私が絵画教室に入会したのは、今から二十数年前でした。振返って見ますと、その頃迄は仕事をしながら、子育てと家事に夢中でした。子ども達が成長して社会人になりましたので、これからは、仕事をやめ時間に余裕ができました。幼い頃から絵が好きでしたし、友達の誘いもあり、田代喜玖生先生の絵画教室に入会しました。先生の熱心な指導に心から感謝しています。絵を通して多くの友達も出来て、美術館めぐりや、研修旅行など、また季節の変わりにはスケッチ旅行に出かけております。自然のうつり変りの絶景に感動しながらキャンパスに向かっていきます。たまにはグループ展もしています。

まだまだ未熟ですが、健康に心がけ精進していききたいと思っています。年に一回の八女文化連盟の美術展にも出品しています。

この作品は昨年美術展に出品した五〇号の油絵です。今年は十一月三日から九日まで八女市民会館おこなう八女交流棟で、一般公募や会員の美術展がありますので、多くの皆様のご来場を心からお待ちしております。



八女市北平塚 松崎 澄江

今月の山柳

木守柿
鳥のおやつに
残しておく



すっかり葉を落とした柿の木に西日が当たり、熟しかった実が真っ赤に染まり、美しい晩秋の彩りを作り出す。最近、柿を食べる者も少なくなり、木守柿は鳥のおやつに残しておく。

八女川柳会 安達 昇

七五三の着つけをしてあげた七歳の可愛らしいお嬢様から、御礼のお手紙をいただきました。ご自分の晴着姿と私の姿のイラストを添えて、「きものはきれいでうれしかったです」と。お母様の話によりますと、式の前夜は興奮気味で眠れなかった様子で、お宮参りや写真撮りが済んだあとも、なかなか晴着を脱ごうとされなかったとのことでした。美しい着物の魅力は、七歳の子どもの魂をも強烈に揺るがす魔力を秘めていることを再認識いたしました。式までには足袋と草履は履きなれておいてねとアドバイスしましたので、いそいそと練習なされた由。着物との初めての出会いが、着つけが苦しかったりすると、子どもは一遍に着物を嫌いになってしまいます。「また着たいです」とお手紙にありましたので、「お誕生日やお雛祭りにお着せするのを楽しみにしています」と、私は幼い人の魂に触発されて、ご本人の似顔絵を添え、お手紙を送りました。二十年ぶりに絵を描くご縁もいただきました。



『こだまする着物』伊賀律子著より
筑後市出身で現在川崎市にお住まいのきもの研究家、伊賀律子さんのコーディネートエッセイ『こだまする着物』が出版されました。伊賀さんにとって2冊目の本になります。

A5判221頁上製¥1,680税込送料別。

ご希望の方は㈱東兄弟☎0943-24-2111迄

矢部川源流・杣の里の四季 ⑬

ベニドウダン(紅満天星)[ツツジ科]の紅葉

福岡県最高峰 釈迦岳 (1230m) の頂上付近の紅葉で一番目立つのはベニドウダンの紅葉である。ドウダンツツジはどの種も葉は赤く紅葉するが、釈迦岳付近のブナ林に生育するドウダンツツジは花(5月頃咲く)が赤いのでベニドウダンという種類である。

画面下背景の岩場は釈迦岳頂上付近の南壁面である。頂上の岩場にもベニドウダンは生育しており岩場の割れ目に根を張り、たくましく生育するベニドウダンを見るときには勇気づけられる思いである。

2007.11.10 撮影
黒木町 松尾 重根



眩きもみじ狩り

三十年も昔になるが嵐山から清滝川に沿って高雄山迄歩いたことがある。紅葉の盛りであったが、赤や黄色に照り映えるもみじにそれほどの感動は覚えなかった。険しい山道であつたこと、山頂神護寺の人の多さのみが記憶に残っている。やがて散り果てる木の葉の壮絶な終焉の叫びを、人生の儚さに結びつけて共鳴し、受け容れる心の準備が40半ばの自分に出ていかなかったであろう。

中、高年には避けることのできない四つの別れがあるという。定年という仕事との別れ、子どもの独立、結婚等による子との別れ、老いた親との別れ、そして受け入れ難い自らの若さとの別れである。別れることはいつどんな形であつても辛く悲しい。愛する人との別れならなおさらである。しかし、会者定離は世の常。会うは別れの始めではないか。喜寿を迎えたこの秋、老妻と久しぶりに錦繡の古都を訪ねることにした。京の秋色が人生の終着点に向かい始めた私の心の琴線に、どのように響いてくるか楽しみである。

本校生産技術科では、久留米市のパンメーカー(株)キムラヤと連携して、本校で生産・加工した良質な茶葉を利用した商品開発を行っています。

昨年好評だった「さつくりシヨコラ八女茶風味」「あんパン八女茶風味」に加え、本年度は「八女茶クリームパン」「八女茶蒸しパン(甘納豆入り)」が登場しました。

2年生は、久留米市の本社工場前で販売実習を行いました。多くのお客様に「お茶の香りがしておいしい」という言葉をかけていただきました。ペットボトル「八女茶」はつのも多

八女農業高校&キムラヤ コラボ商品販売実習

八女農業高等学校の方にご購入いただきました。これからも、お客様に喜んでいただける商品を提供できるように頑張ります。

(八女農みらい館)

11月の開館日

2日(金)、6日(火)、16日(金)、20日(火)、27日(火)、30日(金)

毎週火曜日と金曜日の2回定期的に販売しており、販売時間は、10時30分～15時30分です。多くの皆様のお越しを心からお待ちしております。



今月の
田中店長
おすすめ
コーナー



JAふくおか八女
農産物直売所
「よらん野」

筑後市前津503-1 ☎0942-54-7755
営業時間/9:00～18:00

地場産新米



みかん



あまおう



富有柿